

平成24年度心肺そ生競技会行動基準

「A」行動	「B」行動	手技統一事項	ワンポイント
<p>「傷病者発見」 「周囲の状況よし」 「大出血なし」 「反応の確認」又は「意識の確認」 「もしもし」又は「大丈夫ですか」 「反応なし」又は「意識なし」</p> <p>「誰かきて！人が倒れています！」</p> <p>「あなたは119番へ通報して、AEDがあれば持ってきてください。」</p> <p>「呼吸確認」 「普段どおりの呼吸なし」</p> <p>「胸骨圧迫」又は「心臓マッサージ」 「1・2～わかりました。あなたはAEDを使えますか？」 「それでは、お願いします。」</p>	<p>「どうしました？」</p> <p>「はい。わかりました。」</p> <p>「AEDを持ってきました。」 「はい。使えます。」</p> <p>「水気、貼り薬、ペースメーカーなし」</p> <p>「離れてください」 「ショックします。離れてください」</p>	<p>(A) 傷病者右肩付近に正座。</p> <p>(A) 傷病者の耳元で呼びかけながら、傷病者の両肩をたたき、体全体の反応を確認。</p> <p>(B) AEDを取りに行く。</p> <p>(A) 10秒以内で普段どおりの呼吸があるかないかを確認。</p> <p>(A) の胸骨圧迫開始後に (B) 到着。 (審査員の指示あり)</p> <p>(B) ケースを開けて、電源を入れ手順に従う。</p> <p>(B) 電極パッドを貼るときに3項目以上確認する。</p> <p>(B) 電極パッドのケーブルをソケットに差し込む。</p> <p>(B) AEDの音声のショックメッセージ後にショックボタンが点灯したら、ショックボタンを押して電気ショックをする。</p>	<p>・二次的災害の危険はないか確認しましょう。</p> <p>・呼びかけは徐々に大きく、両肩のたたきは徐々に強くするとよいでしょう。</p> <p>・胸や腹部の動きをよく見ましょう。</p> <p>・電極パットを張り付ける際にも、胸骨圧迫を継続しましょう。</p> <p>・ショックボタンを押す際は、必ず自分が傷病者から離れ、誰も傷病者に触れていないことを確認します。</p>
<p>ここまで1ラウンド！</p>			

<p>A、Bで協力し、「胸骨圧迫」又は「心臓マッサージ」30回、「人工呼吸」2回の心肺そ生法をAEDの音声のショックメッセージがあるまで行う。</p> <p>「胸骨圧迫」又は「心臓マッサージ」 「1・2・3・4・5・・・27・28・29・30」</p> <p>「気道確保」</p> <p>「人工呼吸」(▽印は、呼気の吹き込み) ▽(1回目) ▽(2回目)</p> <p>AEDの音声のショックメッセージ後に、電気ショックをする。</p> <div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>ここまで2ラウンド!</p> </div>	<p>(B)の電気ショック後、ただちに胸骨圧迫を開始する。(ABどちらでもよい) (A又はB) 胸の真ん中を重ねた両手で「強く、速く、絶え間なく」圧迫。</p> <p>(A又はB)頭部後屈あご先挙上法で気道確保。 (A又はB)気道を確保したまま、鼻をつまみ、口を大きくあけて傷病者の口を覆い、空気が漏れないようにして、息を約1秒かけて胸が軽く膨らむ程度吹き込む。 (A又はB)いったん口を離し、同じ要領でもう1回吹き込む。</p> <p>電気ショックは1ラウンドと同様に行う。 (ABどちらでもよい)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・両手の指を互いに組むと、より力が集中できますよ。 ・胸が持ち上がるのを確認しましょう。 ・胸が上がらない場合でも、吹き込みは2回までとして、すぐに胸骨圧迫を開始しましょう。 ・心肺そ生法を再開して2分ほど経ったらAEDは再び心電図の解析を行います。
<p>A、Bで協力し、「胸骨圧迫」又は「心臓マッサージ」30回、「人工呼吸」2回の心肺そ生法をAEDの音声のショックメッセージがあるまで行う。</p> <p>「胸骨圧迫」又は「心臓マッサージ」 「1・2・3・4・5・・・27・28・29・30」</p> <p>以上を、4分経過の合図があるまで行います。</p>	<p>電気ショック後、ただちに胸骨圧迫を1ラウンドと同様に開始する。 (ABどちらでもよい)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・有効な胸骨圧迫をするために、疲れていない人が胸骨圧迫を行いましょ